発行所　東京都文京区千石
4丁目2番15号　〒112-0011
株式会社 建帛社
発行人　筑紫和男
電話 営業部（03）3944-2611
編集部（03）3944-2613
FAX　（03）3946-4377
https://www.kenpakusha.co.jp/
E-mail info@kenpakusha.co.jp
©建帛社，2021

新型コロナウイルス問題への大学での対応

東京家政大学・東京家政大学短期大学部学長　井上俊哉

昨年（令和二年）から続く新型コロナウイルスの感染拡大の問題に、全国の大学では様々な取り組みを講じてきたことと思います。筆者が学長を務める東京家政大学がどう対処してきたのか、その一例としてご報告させていただきます。

昨年三月末の時点では、感染拡大防止に配慮しながら対面授業を行う方針でしたが、感染拡大が続き四月七日には緊急事態宣言が発令されました。当時は、新型コロナウイルスの脅威について今よりさらに不明のことが多く、いつ収束するのかまったく先が見えない状況でした。一時的な休講の案もありましたが、早期の収束を前提とした休講には慎重にならざるを得ず、また対面授業を行うか否かを地方在住の学生に伝えることも必要でした。本学では、同年二月に理事長を議長とする新型コロナウイルス対策本部会議を設置していましたので、四月に入り、すぐにこの会議において前期授業をオンラインで実施することを決定し、授業開始を一か月遅らせて準備期間としました。

同時に在学生全員を対象にパソコンの保有状況、ネット環境を調査し、その結果を踏まえ、貸与用に六〇〇台のパソコンを購入。ネット環境整備等にも使ってもらうことを想定し、全学生に一人五万円を支給しました。また、有志により結成したオンライン授業実施チームが学内各部署と連携し、オンライン授業のための環境を整え、学生および教員向けのマニュアルとQ&A作成を行うとともに、外部業者の力を借りてサポート窓口も設置しました。

このようにして、前期授業開始までにオンライン授業実施の準備を完了し、学生、教職員の努力と協力で昨年度を乗り切ることができました。

さて、今年度はできるだけ多くの対面授業を実施することに努めつつ、学内の密回避のために、オンライン授業も併用しています。学内でリアルタイム双方向型のオンライン授業を受講できるスペースが十分に確保できないため、原則としてオンデマンド型とし、リアルタイム型は対面授業の受講がない日に限定して行うよう、学科内で調整しています。また、オンライン授業も二年目になるため、単に資料の質の向上に努め、単に資料を提示するだけでなく、解説音声を必須として各教員にお願いしています。

感染防止対策としては、昨年度後期以降、一日当たりの入構者数制限、入構者全員の体温検査、マスク着用、手指消毒の徹底、教室定員二分の一以下での授業実施、換気の励行、アクリル板等の設置など、安心して対面授業に参加してもらえる配慮をしています。また、体調不良時は休むよう学生、教職員に徹底し、休むことで不利にならない配慮もしています。

しかし、市中感染者が増加していることからも、多少の陽性者や濃厚接触者は出てきています。今年度は対面授業を増やしているため、陽性者等が対面授業を受けていたことが後からわかるケースもあります。その際は、クラス担任、学科長、関連部署、保健センター等が密に連携し、学内での感染拡大を生じさせないよう、速やかな対応に努めています（学内の医師と相談し、学内で感染を広めないための基準づくり、感染対策を徹底しています）。

オンライン授業については、昨年度の前期授業終了時点で、全学生、全教員対象にアンケートを実施。学生からは、課題の多さ、指示の不明確さ、対面できないことからの不安などの声があった一方、評価の高い授業も少なくありませんでした。

対面授業が必要であることは間違いありません（今年度前期授業が始まり、学生たちが久しぶりに対面したときの嬉しそうな様子はとても印象的でした）。しかし、時と場所を選ばず繰り返し学習できるオンデマンド型授業、遠隔地にいる者同士が瞬時に集まれるリアルタイム型授業など、学生も教員もオンライン授業の可能性を、はからずも今般の感染症対応の中で知ることとなり、大学教育の一部にオンライン授業を組み込む計画も必要だと強く感じているところです。

日光・華厳の滝

林淳三先生の逝去を悼む

関東学院短期大学元学長、彰栄学園元学園長、日本食生活学会初代会長を務められた林淳三先生が、令和三年六月八日に九十八歳で逝去されました。謹んでお悔み申し上げます。

当社建帛社が、管理栄養士・栄養士養成の図書を現在のように出版できるようになりましたことは、偏に先生のおかげでございます。筑紫義男が昭和三十四年に創業し、同三十六年に『食品栄養化学実験書』（小原哲二郎先生編、林淳三先生ほか著）、『栄養学入門』（林淳三先生著）を出版したのが、栄養関係書の最初でございます。その後『食品分析ハンドブック』（共編著）、『原色食品図鑑』（共著）などの出版を経て、昭和六十二年刊行の新栄養士課程講座全十五巻の企画・編集をしていただきました。このシリーズが現在のNブックス全二十六巻につながっています。

現在の当社の礎を築いていただきましたことに改めて感謝し、ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

建帛社会長　筑紫恒男

「エクセル栄養君®」が新しく生まれ変わります
Microsoft® Excel® アドインソフト
評価もできる高機能栄養計算ソフト
Excel® アドイン 栄養Plus プラス
日本食品標準成分表2020年版（八訂）
同アミノ酸編・脂肪酸編・炭水化物編　対応
日本人の食事摂取基準（2020年版）
Window 10/Excel2016,2019対応
定価28,600円（税10%込）
●「エクセル栄養君®」を全面リニューアル。
●摂取基準等を参照した栄養評価と，わかりやすい結果票出力が可能
●食品成分表未収載食品もユーザ登録可能
●ノートPC等でも見やすく，直感的に操作できるようにダイアログやUI/UXを大幅改善
●多様化するユーザ環境に合わせアクティベーション手法を見直し
●「エクセル栄養君®」で作成したユーザデータも移行可能
10月リリース！！
最新情報は当社HPをご確認ください

新刊専門書　（表示価格税10％込）

9月最新刊
ニュージーランド乳幼児教育カリキュラム
テ・ファーリキ（完全翻訳・解説）
―子どもが輝く保育・教育のひみつを探る―
大橋節子 中原朋生 内田伸子 上田敏丈 監訳・編著
神代典子 訳
B5 144頁 8頁カラー口絵予価 2420円
・ニュージーランドの乳幼児教育カリキュラム「テ・ファーリキ（Te Whāriki）」を完全翻訳。解説を付す。
・「子どもは宝。育まれ、成長し、花開くもの」。本書は本邦初の完全翻訳版となる。全体を通して読むことで「テ・ファーリキ」が本当に伝えたいこと・姿がみえてくる。

エビデンスに基づく
競技別・対象別スポーツ栄養
高田和子 田口素子 編著
B5 232頁 3850円
・スポーツ栄養学における最新の研究成果を踏まえ、現時点でのエビデンスを競技別・対象別に整理。
・公認スポーツ栄養士による実際のサポート、献立例等の実践事例も掲載。サポート現場での実践につなげる。

ストーリーでわかる
災害時の食支援Q&A
―基礎から給食施設・被災地の対応まで―
須藤紀子 笠岡（坪山）宜代 下浦佳之 共著
B5 100頁 2530円
・被災地派遣活動などの場面ごとに、ストーリーに沿って災害時の栄養に関する知識や食料備蓄・供給の知識を学ぶ。
・病院、給食、福祉施設等の現場での災害対策の参考図書や、研修会テキストに好適。

生体における
リン脂質の性状と機能性
機能油脂懇話会 細川雅史 菅原達也 監修 責任編集
A5 152頁 2640円
・分子レベルでのリン脂質研究が進展している現状を受け、生体内に存在する多様なリン脂質に関する最先端の研究を分かりやすく記述。

HACCP管理者認定テキスト
（一社）日本食品保蔵科学会 HACCP管理者認定委員会 編
B5 152頁 2420円
・2020年コーデックス総会におけるガイドライン改定を受け、全面的に見直した改訂版。文書の翻訳版を収載。
・農学・食品学・栄養学を学ぶ学生や、食品産業の製造・営業に携わる社会人を対象とした認定講習用テキスト。

保育の場で役立つ
食物アレルギー対応
―職種間連携から考える―
小野内初美 朴 賢晶 編著
B5 144頁 2530円
・保育の場における食物アレルギー事故の原因・注意点を示し、事故防止における職種間連携の重要性を説く。

実践力を高める
成人言語聴覚療法ハンドブック
（一社）日本言語聴覚士協会 森田秋子・内山量史 監修 編著
B5 144頁 3080円
・日本言語聴覚士協会の監修による、実務者向けハンドブック。
・臨床現場で勤務する言語聴覚士に向け、患者の全体像を包括的にとらえる視点を通じ実践へとつなげる。

改訂　**医療保育セミナー**
日本医療保育学会 編
大幅改訂
B5 216頁 2860円

2021年版（2016～2020年度実施分）
栄養士実力認定試験過去問題集
（一社）全国栄養士養成施設協会 編
A4判／96頁（別冊解答・解説（5年分）付）定価1210円

フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集
（公社）日本フードスペシャリスト協会 編
A4判／100頁（別冊解答・解説（5年分）付）定価1320円

日本食品標準成分表二〇二〇年版（八訂）の活用

渡邊智子

「日本食品標準成分表」（以下、成分表）は、日本人にとって食べ物を評価する基準として「物差し（秤）」の役割をしている。成分表は、一九五〇年に初めて公表されて以降、科学の進歩や社会情勢の変化に伴い、収載食品の増加、変更、細分化などが行われるとともに、必要に応じてエネルギーや収載成分の分析方法、効力値の計算方法などが見直されてきた。

そのため、成分表は最新版を使うのが原則である。

ある食事の栄養計算結果は、根拠となる成分表が異なれば異なる値（エネルギーや全部あるいはいくつかの成分）となるが、その時点で最新版の成分表を用いた結果が、最も確からしい値といえる。また、他の食事や食品の栄養計算結果を比較する場合もあるため、栄養計算結果を示す際には、根拠として成分表の正式名称を記載する必要がある。

現在の最新版は、二〇二〇年十二月に文部科学省より公表された「日本食品標準成分表二〇二〇年版（八訂）」（以下、成分表二〇二〇）である（文部科学省ホームページより成分表全文および正誤表を入手できるhttps://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_01110.html）。

成分表二〇二〇の改定のポイントは、①調理済み食品の情報の充実、②エネルギー計算方法の変更、③組成成分表の充実、④「日本食品標準成分表二〇一五年版（七訂）」（以下、成分表二〇一五）の追補成分表（二〇一六～二〇一九）の反映（収載食品数の増加、既収載の菓子類、加工食品の収載値に原材料的食品の成分値の変更を反映、成分の追加：ナイアシン当量と難消化性オリゴ糖等を含む食物繊維）、⑤解説の充実（食品群別留意点、調理に関する解説など）、⑥表頭項目の変更である。

特に、②エネルギー計算方法の変更は、各食品のエネルギー量に大きな変化（成分表二〇一五のエネルギー量の計算方法で算出したエネルギー値に比べ平均で約九％減）を及ぼしている。

これは、成分表二〇二〇でのエネルギー産生成分の変更（原則として組成成分から算出した成分を用いる）およびエネルギー換算係数の変更（全食品のエネルギー換算係数を統一）によるものである。

成分表二〇二〇を使ってこれまで提供していた食事のエネルギー量を再計算すると、前述のように以前の値よりも低くなる。これは、食事を評価する「物差し（秤）」が変わったためであり、今まで以上に確からしいエネルギー量を示しているといえる。また、これまで特定給食施設等で提供する食事の基準が高く見積もられていた可能性を示唆するとも考えられる。

新しいエネルギー値を用いた栄養計算では、このエネルギー量の算出に用いたエネルギー産生成分を、摂取量およびエネルギー産生栄養素比率の計算に使用する（詳細は、建帛社のホームページに示しているので参照されたい）。

成分表二〇二〇の最も重要な変更点であるエネルギー計算の変更は、栄養士・管理栄養士に限らず、食にかかわる全ての職種に周知し、理解いただきたい。また、栄養士・管理栄養士養成施設の全教員の共通理解と学生への教育以外にも、それらの全職種の養成施設での教育も必要である。

（学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校校長）

「答申」から読む日本の学校教育の未来

～「個別最適な学び」と「協働的な学び」～

古賀一博

令和三年一月二六日、文部科学省中央教育審議会は「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」と題する新たな答申を発表した。本稿では、答申が提案する「個別最適な学び」と「協働的な学び」から今後の学校教育の未来を展望してみたい。

「個別最適な学び」とは、従来指導する側からの視点として示されてきた「個に応じた指導」を学習者の視点から整理し直した概念である。

具体的には、支援が必要な子どもにより重点的な指導をし、子どもの特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行うなどの「指導の個別化」と、子どもの興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子ども自らが学習を最適となるよう調整する「学習の個性化」をあわせもっている。そのため、この学びには「これまで以上に子供の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや、子供が自ら学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していくこと」とある。そして、ICTを活用し、学習履歴や生徒指導上のデータ、健康診断情報等の利活用、教師の負担を軽減することが重要であると説いている。

その一方で、「個別最適な学び」が「孤立した学び」とならないよう、「協働的な学び」を充実させることも重要であるという。

これは、「探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する」ことである。その際、集団の中で個が埋没してしまわないよう、一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出すことが大切であるとも述べている。

さらに、この学びの中で知・徳・体を一体的に育むためには、①教師と子ども、子ども同士のかかわり合い、②自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験、③地域社会での体験活動など、様々な場面でのリアルな体験を通じて学ぶことの重要性が、AI技術が高度に発達するSociety5.0時代にこそ一層高まると指摘している。

また、「協働的な学び」においては、同一学年・学級はもとより、異学年間の学びや、ICTの活用による空間的・時間的制約を超えた他の学校の子ども等との学び合いも推奨している。

要約すれば、答申でいう「令和の日本型学校教育」とは、一人の子どもも取り残すことなく、全ての子どもたちの可能性を引き出すために、この二つの学びを「一体的に充実」させ、直近の学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を実現させた、いわば理想的な未来像と捉えることができよう。

（福山平成大学教授・学長補佐）

ICT化時代にこそ必要な介護職の判断力と創造性

柊崎京子

近年、介護分野では、介護サービスの質の向上や生産性向上のために、ロボット・AI（人工知能）・ICT（情報通信技術）等のテクノロジーを活用した改革がすすめられている。対人援助職に欠かせない三つのH（Head：冷静な判断や知識、Hand：技術、Heart：温かい心や態度）は人にしかできないと思われていたが、テクノロジーの進化が生み出す今後の次世代介護機器やICT活用は、三つのHこそが開発の原点になると思われる。そのような視点を踏まえた開発は、わくわくするような未来や、介護職が余裕と創造性をもって働く環境をつくり出すであろう。

一方、国は介護保険下で「科学的裏付けに基づく介護」として、「科学的介護情報システム（LIFE）」の活用を推進している。これは、自立支援・重度化防止等やケアの質を向上させるため、情報を収集・分析、その解析結果をエビデンスとして蓄積するものであり、現場にフィードバックして実践に活用することが目指されている。そのために、「科学的に妥当性のある指標等の現場からの収集・蓄積および分析」の仕組みづくりも同時にすすめられている。「科学的に妥当性のある指標」とは、記録や情報共有の業務、保険請求業務の効率化につながり、現場の負担軽減に役立つ。なお、この支援事業はLIFEのデータ収集とも関連し、各事業所間で情報連携できるように標準仕様に準じたソフトを利用すること、LIFEによる情報収集に協力することが要件となっている。

以上のように介護分野では、ICTの利活用やLIFEが制度的に加速化している。これらは、将来的に介護保険制度下におけるケアマネジメントや、ケアマネジメントを踏まえて介護職が実施する「介護過程」に影響を与えるであろう。

介護福祉は介護サービス利用者の「日常生活の営み」（太田貞司、二〇二〇）の支援であり、介護過程は「利用者の望む生活の実現」に向けた実践を導くための思考過程・実践過程である。「日常生活の営み」や「望む生活」は個人によって異なる。LIFEによる「科学的裏付けに基づく介護」のシステム構築は、重要ではあるが人の生活はそれだけではない。

AIは支援内容を深化させるアセスメントに貢献するだろう。しかし、人の生活には、個人によって異なる生活の彩りや願いなど、客観的指標がない測定不能なデータがある。それを含んで、アセスメントを根拠づけて言語化できることが介護職には必要である。

AIと二人三脚の未来は、介護職の判断力と創造性こそが実践の鍵である。支援内容は与えられるものではなく、判断し創造していくことで効果的な実践となる。

（帝京科学大学教授）

教科書採用特典として図表データの提供を開始いたします

対象書籍を20部以上ご採用の先生方に向け、特典として教科書中の図表データをダウンロードいただけるようになりました。当社HPよりお申し込みください。

〈対象書目〉

Nブックススシリーズ23点
カレントシリーズ9点
その他5点

＊対象書籍は今後も拡充していく予定でございます。

新刊教科書

（表示価格税10％込）

特別支援教育免許シリーズ 各巻B5判

特別支援学校教諭免許取得のための初の体系的テキストシリーズ

シリーズ監修　花熊　暁・苅田知則・笠井新一郎・川住隆一・宇高二良

特別支援教育概論
花熊暁・川住隆一　編著　240頁 3190円

聴覚障害教育領域 聞こえの困難への対応
宇高二良・長嶋比奈美　編著　160頁 2530円

肢体不自由教育領域 運動機能の困難への対応
樫木暢子・笠井新一郎　編著　208頁 2860円

病弱教育領域 健康面の困難への対応
中野広輔・樫木暢子　編著　192頁 2750円

合理的配慮 支援機器を用いた合理的配慮概論
金森克浩・大杉成喜　編著　10月刊　208頁 2860円

以下続刊

第1欄
「気になる子」をみる・かかわる視点
花熊暁・笠井新一郎・苅田知則　編著　304頁 予価3960円

第2欄
視覚障害教育領域 見えの困難への対応
氏間和仁・永井伸幸・苅田知則　編著　256頁 予価3410円

知的障害教育領域 認知機能・知的機能の困難への対応
笠井新一郎・坂井聡・苅田知則　編著　208頁 予価2860円

第3欄
重複障害者の教育 複数の困難がある子への対応
ライフキャリア教育 生涯にわたる配慮・支援
発達障害者の教育① 行動上の問題への対応
発達障害者の教育② ことば・学習上の問題への対応

スタディ 生化学
渡邊敏明　編著　B5 264頁 3630円

疫学・健康統計学
緒方裕光　編著　B5 168頁 2750円

中学校・高等学校 体育科教育法
白旗和也・岡出美則・今関豊一　編著　B5 176頁 2530円

コンパス 教育原理
古賀一博・中坪史典・加藤望　編著　B5 264頁 3080円

コンパス 保育者論
上野恭裕・米谷光弘　編著　B5 144頁 2090円

コンパス 子どもの理解 ―エピソードから考える理論と援助―
上田敏丈・香曽我部琢　編著　B5 144頁 2090円

シードブック 子育て支援演習
太田光洋　編著　最新刊　A5 160頁 1980円

介護過程
柊崎京子　編著　B5 184頁 2750円

福祉ライブラリシリーズ 各巻A5判

2021年度社会福祉士養成新カリキュラム対応 改訂 現代の社会福祉
都築光一　編著　240頁 2750円

現代の地域福祉
都築光一　編著　240頁 2750円

改訂 社会保障
川村匡由　編著　264頁 3080円

スポーツ栄養でエビデンスを使う、作る

髙田和子

栄養サポートをする時、これまでに経験したことのないタイプの事例にはどう対応するか。選択肢としては、勘にたよる、経験した事例で近い事例を探す、同業者に相談する、教科書を読む、論文や専門的資料を探す、インターネットで検索するなどが考えられる。「エビデンスに基づいた○○」がすすめられているが、ピッタリなエビデンスがいつもあるわけではない。

「質の高い」といわれるエビデンスの中に、ある特定の事例にピッタリのものがある場合の方が少ない。

例えば、食事摂取基準は様々なエビデンスに基づいて作成されているが、あくまでもガイドラインである。様々な事例に対して大きく外れてはいないが、個別の事例では調整が必要である。

東京大学の佐々木敏教授は、それを道路のセンターラインや車道外側線にたとえている。個別の調整は、体重や健康状態など摂取量以外の指標との関係から行う場合や、対象者の生活習慣を考慮することが必要な場合もある。ガイドラインに従った調整（道路のどのあたりを走るか）には、経験や勘も必要とし、それができるのが専門家といえる。

それでは、スポーツ栄養ではどうか。この分野では、センターラインを越える超大型車や、ぐるぐる回りながら走る車など、標準的な範囲を超える事例が数多く存在する。競技別にはスポーツ栄養に関するエビデンスは多くはない。では、目の前に対象者がいるのに、エビデンスがないから何もしないのかといわれるとそれはあり得ない。

昨今の新型コロナウイルス感染症の治療と比べてはいけないが、明確なガイドラインがない事例でも、専門家としては現状でベストを尽くすしかない。

一方で、すべての事例に対してエビデンスを作ることは不可能である。だからといって、エビデンスがないまま放置してよいわけでもない。研究者の一端としては、活用できるエビデンスを増やしたい。しかし、スポーツ栄養でヒトを対象として質の高い研究をすることは難しい。

対象者の条件をそろえるだけでも、実施しているトレーニングは異なる場合が多いし、同じ競技レベルの対象者はレベルが高いほど人数が少ない（ゴールドメダリストは各種目に一人しかいない）。さらに、試合に向けて準備をしている選手にRCT（ランダム化比較対照試験）をお願いすることも難しい。

また、アウトカムの選択も悩むところである。筋力系や陸上のタイム等は測定できるが、審美系や球技系競技の競技力向上は評価しにくい。筋肉量や血液成分の各指標の値は、いくつであることが競技力向上に最も適しているか。その変化は本当に栄養の介入によって生じたのだろうか。

難しいことが多くても、エビデンスの使用者と同じように、専門家としてその時点でのベストを尽くすしかないと考えている。

今般、建帛社より『エビデンスに基づく競技別・対象別スポーツ栄養』を上梓した。スポーツ栄養のエビデンスについて現時点での最新研究成果と経験豊富な公認スポーツ栄養士の実践事例をまとめたものである。実践者、研究者の両者にとって活動の一助になれば幸いである。

（東京農業大学教授）

ニュージーランド乳幼児教育カリキュラム『テ・ファーリキ』の魅力

中原朋生

筆者らは、ニュージーランド教育省の正式な許諾を受けて、同国の乳幼児教育カリキュラム『テ・ファーリキ（Te Whāriki）二〇一七年版』（英語編）を日本語に翻訳し、解説を付けて建帛社より出版する機会を得た。そこで本稿では、テ・ファーリキの魅力について記したいと思う。

テ・ファーリキは、先住民であるマオリ族と欧州系移民が培ってきた〝二文化主義〟に基づくカリキュラムである。それは、次の四つの原理と五つの要素を織り合わせたファーリキ（マオリ語で敷物を意味する）として乳幼児教育を創り出す。この枠組みは、一九九六年初版において提示され、二〇一七年改訂版にも堅持されている。

【四つの原理（プリンシパル）】
一、エンパワメント／WHAKAMANA
二、ホリスティックな発達／KOTAHITANGA
三、家族とコミュニティー／WHĀNAU TANGATA
四、関係性／NGĀ HONONGA

【五つの要素（ストランド）】
一、ウェルビーイング／MANA ATUA
二、帰属感／MANA WHENUA
三、貢献／MANA TANGATA
四、コミュニケーション／MANA REO
五、探究／MANA AOTŪROA

原理（プリンシパル）は、乳幼児教育を創り出す保育者側の基本原則である。最も重視される原理、「エンパワメント」は保育者が子どもの潜在的な能力を引き出す原理であり、マオリ語ではWHAKAMANAの言葉が与えられている。これは「先祖から受け継ぐ魂」を意味する。

要素（ストランド）は、子どもたちの学びと発達を促す領域に相当し、日本の保育内容五領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）と近い概念である。ストランドの語源は、織物における「より糸」であり、同じ質の経験が束になり、より深く広い経験を創造することを意味している。

五つの要素は、テ・ファーリキ独自の保育内容論である。「ウェルビーイング」では子どもが心身の健康をベースに社会的な幸福を生み出す。「帰属感」は子どもが心理的かつ物理的な居場所を創っていく。「貢献」は子どもが相互に尊重しながら協働していく。「コミュニケーション」は、子どもが言語的な表現と非言語的な表現（身振り・手振り・絵・造形等）を創っていく。「探究」は子どもが環境との相互作用の中で様々な現象に不思議を感じ、研究していく。

この四つの原理と五つの要素を織り合わせた敷物（ファーリキ）は、乳幼児教育の三つの側面を象徴している。第一に身体・知性・魂・心が総合的に織り込まれていく〝子どもの豊かな人格〟。第二に敷物を紡ぐ人々には知識・スキル・時間・共同性・芸術性が必要であり、乳幼児教育に携わる〝保育者に必要な力量〟。第三に敷物は人・場所・モノと子どもとを紡ぎ合わせる〝環境〟である。テ・ファーリキは静的な敷物ではなく、あらゆる子どもの足元に常に存在し、共に移動しながら、保育者・環境・人を繋ぎ合わせる動的なものである。

このように、テ・ファーリキの魅力は欧米流の発達理論・教育理論と、マオリ族の子ども観・教育思想が融合した、柔らかく大きな敷物をあらゆる子どもたちのために創っていくことにある。今後もこの魅力を探究したい。

（IPU・環太平洋大学教授）

医師の働き方改革と多元連立方程式

清水祥友

医師不足と病院勤務医の過重労働の問題は、二〇〇六年頃から顕在化したが、現在でも四割近い勤務医が過労死レベルの年九六〇時間を超える時間外労働をしている状況であるという。勤務医の負担軽減策は、①供給数（医師）、②需要（患者の受療行動）の調整、③医療の効率化の三つの観点から考える必要がある。

医師数は年々増加しており、厚生労働省の試算によると、現在の医師養成数を維持した場合、遅くとも二〇三〇年代前半には需要と供給が均衡し、供給過剰となる見込みである。しかし、医師の養成は十年かかるといわれており、一朝一夕に医師が増えるわけではない。需要過多の時期は偏在対策で乗り越えるしかない。

一方、患者の受療行動を規制することは難しく、不要不急の受診かどうかを患者が判断しがたい面もあり、過度の受診抑制は健康悪化を招きかねない。

患者の行動変容を促すには、啓発や救急電話相談の周知徹底などはもとより、大病院の選定療養の強制適用のように経済的負担の誘導をもって緩やかに変容を働きかけるしかない。

現在、特定機能病院と一般病床二〇〇床以上の地域医療支援病院において患者からの定額負担を徴収する義務があるが、これを今後「医療資源を重点的に活用する外来」を有する病院（重点外来基幹病院）へ対象を拡大する予定である（もっとも、コロナ禍による患者の受診抑制のデータがある。コロナ収束後の受療行動の動向を見守る必要がある）。

さらに、需要と供給の調整で難しい分は、業務の効率化が必要である。各医療機関が、連続労働時間制限、勤務インターバルの設定を強く意識しながら、タスクシフトやタスクシェアの促進、交代制勤務・複数主治医制の実施、ICT（情報通信技術）の利活用の促進、さらに、地域医療構想の中で医療機関同士の役割分担と連携などが求められよう。

日本の医療は、病床当たりの医師数が先進諸国に比して少ないが、フリーアクセスのため患者の通院回数は多い。この状態を、医師の高い職業意識と献身的な業務提供で吸収してきた。しかし、現在の需要超過状態では限界がある。

もっとも医療提供において、質、アクセス、コストの三要素を同時に満足させるのは困難とされる。医師の働き方改革ひとつとっても、様々な要素が絡み合っており、「多元連立方程式を解く」（島崎謙治）問題なのである。ゆえに、労働基準法の時間外労働上限規制の一般則適用ではなく、特例を作るのはやむを得ない。

勤務医の負担軽減策は、人々の医療に大きな影響を及ぼす。医療提供体制は一度壊れると再構築が難しいだけに、国民的な合意形成が早急になされることが求められる。

（埼玉コンピュータ&医療事務専門学校教務部主任・社会保険労務士）

管理栄養士国家試験 e-ラーニング

▼国家試験の過去問題、解答・解説を収載したWebシステム
▼過去問対策から成績管理まで、国家試験対策を完全サポート
▼スマートフォン、タブレットなどモバイル環境にも対応!!

〈個人用プラン〉5000円+税（3年間ライセンス契約）
〈学校用プラン〉11D3000円+税（1年間ライセンス契約）

個人用プラン（学生用サイト）の主な機能
○模擬試験・分野別・ランダムなどさまざまな形式で学習。
○科目ごと、試験ごとの成績管理機能。

学校用プラン（教員用サイト）の主な機能
○学生の利用状況、成績を一括管理。成績の比較・分析も可能。
○小テスト作成機能。作成した小テストは学生用サイトに更新。

当社HPより無料デモ版をダウンロードご利用いただけます。

改訂教科書（表示価格税10％込）

Nブックスシリーズ 各巻B5判

新版 社会福祉概論〔第3版〕 金子光一 編著 B5 208頁 2750円
四訂 生化学 木元幸一・後藤潔 編著 A5 240頁 2970円 9月刊 184頁 予価2640円
三訂 運動生理・栄養学 高松薫・山田哲雄 編著 B5 184頁 2640円
臨床栄養学概論〔第2版〕 渡邉早苗・本間和宏 佐藤智英 編著 B5 184頁 2640円
調理科学〔第5版〕 森高初恵・佐藤恵美子 編著 B5 208頁 2750円

カレントシリーズ 各巻B5判

改訂 食べ物と健康1：食品の化学と機能 青柳康夫・津田孝範 編著 B5 216頁 2860円
改訂 食べ物と健康3：食品衛生学 川村堅・斉藤守弘 編著 B5 224頁 2860円
改訂 基礎栄養学 木元幸一・中島滋 林あつみ 編著 B5 216頁 2860円 9月末刊
改訂 公衆栄養学 由田克士・荒井裕介 編著 B5 224頁 2970円
改訂 給食経営管理論 松井元子・冨田圭子 編著 B5 256頁 3300円

Nブックス実験シリーズ
三訂 食品衛生学実験 後藤政幸・熊谷優子 編著 B5 152頁 2310円
管理栄養士講座 新版 食品衛生学〔第3版〕 西島基弘・山本茂貴 編著 B5 276頁 3740円
三訂 マスター食品学Ⅰ 小関正道・鍋谷浩志 編著 B5 200頁 2970円
三訂 マスター食品学Ⅱ 小関正道・吉川秀樹 編著 B5 184頁 2860円
改訂 マスター栄養教育論実習 佐藤香苗・杉村留美子 編著 B5 152頁 2530円
マスター調理学〔第4版〕 西堀すき江 編著 B5 192頁 2860円
新版改訂 微生物と免疫 林修 編著 B5 184頁 2860円
三訂 ライフステージ別栄養管理・実習 吉岡慶子・三成由美 徳井教孝 編著 B5 248頁 3080円
食と健康の科学〔第3版〕 稲山貴代・大森玲子 編著 B5 160頁 2420円
健康づくりの栄養学〔第3版〕 小林修平 編著 B5 144頁 2530円
給食のための改訂 基礎からの献立作成 上地加容子・片山直美 編著 B5 144頁 2310円
四訂 食品の消費と流通 日本フードスペシャリスト協会 編 A5 168頁 2090円
食物学Ⅰ〔第2版〕―食品の成分と機能― 日本フードスペシャリスト協会 編 A5 248頁 2420円
三訂 セミナー子どもの食と栄養 上原誉志夫・根岸由紀子 編著 B5 224頁 2970円
子どもの食と栄養演習〔第5版〕 小川雄二 編著 B5 232頁 2970円
子どもの食と栄養〔第4版〕 小川雄二 編著 B5 192頁 2530円
病院事務のための医療事務総論／医療秘書実務〔第2版〕 日本医療福祉実務教育協会 監修 B5 272頁 3520円

訪問教育
―通学が難しい子どもたちの学び―

樫木暢子

皆さんは「訪問教育」をご存じだろうか？

訪問教育とは、疾病等により通学して教育を受けることが難しい児童生徒に、教員がその居所に教育を届ける制度である。訪問先は、在宅療養中の自宅や病院、肢体不自由児施設等で、病弱・身体虚弱、重度重複障害（重症心身障害）のある子どもたちが対象である。訪問教育は全国的に週三回、一回二時間を目安とされており、通学に比べて圧倒的に授業時間数が少ない。

主治医の指導の下、家族等が行う医行為を「医療的ケア」という。一九八〇年代から増え始めた医療的ケア児は「基本的に訪問教育」とされ、通学を希望する場合、保護者が付添って医療的ケアを行うことが求められた。保護者の負担や母子分離などの観点から、学校内における医療的ケアへの対応が議論され、二〇一二年四月、社会福祉士及び介護福祉士法の改正で、学校教職員による医療的ケアの実施が法制化された。

この法改正により、医療的ケア児は保護者の付添いなしで通学できるようになったため、在宅の訪問生が通学を目指すようになり、人工呼吸器をつけた子どもたちも通学するようになった。一方で、訪問教育は医療・福祉施設にいる子どもたちや、重症度の高い子どもたちの教育を保障する役割を担い続けている。

二〇二〇年は新型コロナウイルス感染症による全国一斉休校があった。訪問生も同様であっただけでなく、学校再開後も感染防止対策による訪問回数・時間数の制限から、教育を受けられない状態が続いた。

同年秋に全国訪問教育研究会が実施した「コロナ禍における訪問教育」に関する調査では、教育を受けたいと願う訪問生や家族、感染の恐怖と闘いながら教育を届けようとする教員の姿が、浮かび上がってきた。これまで以上に細やかな配慮が必要となり、子どもたちに触れることが制限され、週一回、一回十分間の授業のみという医療・福祉施設もあった。「学びを止めるな」という全国の流れから、訪問生は置き去りにされている。

文部科学省のGIGAスクール構想により、国公私立の小・中・特別支援学校等の児童生徒へ各一台のタブレット端末等の配布が進んでいる。令和三年一月に中央教育審議会より出された「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」（答申）では、臨時休業時や病気療養、不登校の子どもたちに対して、遠隔教育を活用することが提言されている。学習機会を保障するために非常に有効な手段ではあるが、発達期の子どもたちは人とのかかわりの中で成長していく。友だちや教員との直接的なかかわり、学び合いは豊かな人間形成に不可欠である。同じような障害の状態でも、通学生は週五日、全日授業を受けることができる。

訪問生は年々減少し、二〇二〇年度には特別支援学校在籍児童生徒の二％弱となった。「普通」の生活の中では見えにくいが、確実に存在する訪問生たちの教育条件の改善が求められている。

（愛媛大学教授・全国訪問教育研究会会長）

一人の健康と集団の健康
―現代における公衆衛生学の意義―

緒方裕光

「健康」と「不健康」の境界線ははっきりしていない。しかし、仮に「健康」に向かう何らかの方向性があるとすれば、一人一人の人間が健康に向かうことで集団の健康につながり、逆に、集団として健康であることが個人の健康を支えることになる。このことは、感染症流行時の集団免疫という考え方を理解すればよく分かる。公衆衛生学は、集団の健康を通じて一人一人の健康を守っていこうとする学問体系である。

では、この公衆衛生学が指す「集団」とは何を意味しているのだろうか。

公衆衛生学の歴史上、疫学を最初に実践したのはイギリスの医師、ジョン・スノウであることはよく知られている。一八五四年にロンドンのブロードストリートでコレラが流行した際に、彼は当時まだ確立していなかった疫学的手法を用いて、その原因が井戸水の汚染にあることをつきとめた。これを受けて、その井戸のポンプを止めたことによりコレラの流行が終息したといわれている。ただし、残されたデータからは、井戸のポンプを止めた時点でコレラによる死者数はすでに減少傾向にあったため、ポンプを止めていなかったらどこまで流行が続いたのか、再流行があったのかなどは、今となってはわからない。このときの対象集団は、ロンドンの一角に住む住民である。

ロンドンのコレラ流行から約一〇〇年後、アメリカをはじめとする先進諸国では、一九五〇年代から肺がんの死亡者数が急増していた。これは、一九二〇年頃から少しずつタバコの消費量が増え、第二次世界大戦で兵士たちの間に喫煙習慣が広まったことが原因といわれている。しかし、この喫煙と肺がんの因果関係は、その後何年も経ってから明らかになったことである。当時は、非常に高い割合の男性が喫煙者だったこともあり、タバコ原因説は社会に受け入れられなかった。

喫煙という生活習慣が、肺がん死亡率の増加に結びつくには二十年以上のタイムラグがある。一九七〇年頃から喫煙率は減少し始め、一九九〇年以降肺がん死亡率の減少につながっている。この場合の集団とは、アメリカやイギリスなどの先進諸国の国民である。

これらの事例以外にも、公衆衛生学の発展のポイントとなった歴史上の事実は数多くあり、公衆衛生学が対象とする集団は時代とともに広がってきていることがわかる。一人の人間が集まれば小さな集団に、小さな集団が集まれば大きな集団に、そして最後は地球全体の住民にいきつく。公衆衛生学は、その時代に応じた規模の集団に対して、その時々で初めて直面する健康問題に対処してきた。

したがって、公衆衛生学を実践する者とその対象者を含めて、人間集団全体が過去からの経験を継承し、それをさらに将来の集団に引き継ぐことになる。

現在の新型コロナウイルス感染症の流行に対する様々な対策の試みは集団の経験として蓄積されていき、その一部は公衆衛生学を含む科学的分析を通じて人類の大きな知恵となるだろう。

（女子栄養大学大学院教授）

教育としての体育

白旗和也

皆さんは、学校で体育の授業を受けてきたはずです。では、どのような感想をお持ちでしょうか。次の四択では、どれに当てはまりますか。

①運動は得意だし、体育は好きである
②運動は得意ではないが、体育は好きである
③運動は得意ではないし、体育は好きではない
④運動は得意だが、体育は好きではない

講演会や研修会などで成人の参加者に聞くと、例外なく、②が圧倒的多数なのですが、実際に実技研修をしてみると、②を選んだ方の中に「十分、動きのよい」方は少なくないのです。ここで感じるのは、運動が好きであっても「運動が得意」とは簡単にいえない。つまり、運動がよくできること（技能の習得）に重きが置かれてきた体育の現実です。

「体育」という言葉は、これまで多岐に渡って使われてきました。しかし、近年「スポーツ」と立場が入れ替わってきています。

例えば、「国体」と呼ばれてきた「国民体育大会」は二〇二三年より「国民スポーツ大会」・「国スポ」へと名称が変更されます。

それでは、「スポーツ」と「体育」の違いは何でしょうか。

それに対して体育とは、スポーツの中でも教育的に必要な内容を確実に学べるよう、意図的・計画的に発達の段階に応じて適切に配列されているものとなります。つまり、体育の概念は教育として位置づけられているのです。

教育ですから、技能だけが指導内容ということはありません。技能については、競技スポーツとは違って、その運動を楽しめる技能を身につければよいのです。運動への意欲、仲間との協力や公平な態度、責任感、安全への意識等の態度。そして、どのようにしたら技能が獲得できるかの知識やそれらを活用するための思考力、判断力、表現力なども重要な指導内容です。体育では、これらをバランスよく習得することが大切です。

そもそも体育の目標は、「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す」（学習指導要領、二〇一七）とあり、運動との良好な関係を築くことが最優先で求められます。この考えを実現する体育の授業であれば、運動が得意か否かばかりを意識することはなくなることでしょう。

近年は、日常的に運動する子どもとしない子どもの二極化が課題としてあげられますが、どんなに普段運動しない子どもでも、体育の時間だけは必ず運動をしているわけです。子どもたちにとって、体育の時間をいかに魅力的なものとし、運動の楽しさや喜びを味わえるようにするのか、そして、体育の指導内容を確実に学べるかということが、大変重要です。ですから、体育は一人一人の「豊かなスポーツライフ」の基盤になるのです。

（日本体育大学教授）

教科書ご採用検討のための見本が入用でしたらご請求下さい。

芳名・ご住所・学校名・科目名を明記の上、ハガキでお申込み下さい。**（ご採用見本は教科書のみです）**

当社ＨＰからも見本請求いただけます。

https://www.kenpakusha.co.jp/np/textbook.html

ご勤務先・ご所属等が変わられましたら、当社までお知らせ下さい。なお、ご自宅の住所をご教示頂けましたら、本紙「土筆」をご自宅宛にお送り致します。

tukusi@kenpakusha.co.jp

（個人情報は厳密に管理致します）

近刊案内

（令和３年10月～令和４年３月刊行予定。価格10％税込価格。予価、頁数等は変更する場合がございます。）

新 医療秘書実務シリーズ
新刊を含みシリーズを刷新!!
医療秘書教育全国協議会 編
各巻B5判 10月刊

①三訂 医療秘書 寺田智昭・大塚映 共著 森合恵子 B5 144頁 予価2310円
②改訂 病院のマネジメント 岸田敏彦・藤井昌弘 丹野清美 共著 B5 200頁 予価2750円
③三訂 医療情報管理 野田雅司・伊藤敦子 共著 B5 128頁 予価2310円
④三訂 医療関連法規 西方元邦・清水祥友 淡島正浩 共著 B5 232頁 予価2860円
⑤社会福祉関連法規 出嶋陽介・安部正美 澄川良一 共著 B5 168頁 予価2530円
⑥ＤＰＣの実際 秋山貴志・林田朋子 宮本晃太 共著 B5 144頁 予価2310円

新医療秘書医学シリーズ⑥
三訂 医療用語 医療秘書教育全国協議会 編 井上肇・瀧本美也 共著 B5 136頁 2310円

栄養疫学（仮） 栗木清典 編著 B5 176頁 予価2750円
Nブックス 四訂 基礎栄養学 木元幸一・鈴木和春 編著 B5 216頁 予価2860円
Nブックス 五訂 食品加工学 鍋谷浩志 編著 B5 232頁 予価2970円
Nブックス 新版 給食経営管理論（第2版） 岩井達・名倉秀子 松崎政三 編著 B5 248頁 予価3190円
栄養・食事管理のための 改訂 対象者別給食献立 殿塚婦美子・長田早苗 編著 B5 200頁 予価2750円
改訂 給食経営管理論実習 石田裕美 編著 B5 160頁 予価2640円
ステップアップ臨床栄養学実習（第2版） ―栄養診断に基づく栄養・食事計画― 桑原節子・永井徹 編著 B5 128頁 予価2200円
新版 公衆衛生学実験・実習 角野猛・岸本満 編著 B5 160頁 予価2420円
四訂 応用栄養学実習（第2版） ―ケーススタディーで学ぶ栄養マネジメント― 五関正江・小林三智子 編著 B5 216頁 予価3080円
改訂 応用栄養学実習書（第2版） ―PDCAサイクルによる栄養ケア― 柳沢幸江・松井幾子 編著 B5 192頁 予価2640円
四訂 フードスペシャリスト論（第7版） 日本フードスペシャリスト協会 編 A5 208頁 予価2200円
三訂 食品の安全性（第3版） 日本フードスペシャリスト協会 編 A5 216頁 予価2310円
四訂 栄養教諭論（第2版） 金田雅代 編著 B5 224頁 予価3080円
コンパス 教育相談 住本克彦 編著 B5 144頁 予価2090円
福祉施設実習テキストブック 栗山宜夫・小林徹 編著 B5 176頁 予価2310円
中学校・高等学校 保健科教育法 今関豊一・植田誠治 杉崎弘周 編著 B5 144頁 予価2310円
症例から学ぶ 子どもの構音障害 能登谷晶子・諏訪美幸 編著 B5 216頁 予価3410円